

2013研修分科会通信

2013年9月26日

私立大学図書館協会
東地区研究部
第5期研修分科会
開催のご案内

第4回

東京都市大学

世田谷キャンパス

図書館B1F メディア
学習室

+夏季見学ツアー一写真集



第3回 夏季見学ツアー 2013.8.27 国立国会図書館

図書館の自由を考える

今回は、12月に予定されている「研究分科会報告大会」の準備をしなければなりません、それだけでは内容が増えませんが、半分の時間を図書館の自由について、考えることにしたいと思います。

この夏『はだしのゲン』が島根県松江市の学校図書館で閲覧規制されていたことが新聞等で話題になりました。このことについて、日本図書館協会は8月22日付で松江市教育委員会宛に要望書を送っています。この文書で論拠としているのが「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会、1979）であり、IFLA Statement on Libraries and Intellectual Freedom（1999）です。

大学図書館も公共図書館や学校図書館と同様に、利用者の知る権利と、利用者の秘密を守らなければなりません。あらためて、「図書館の自由に関する宣言」を私たちの日常業務の視点で読み直してみましょう。

<http://www.jla.or.jp/library/gudeline/tabid/232/Default.aspx>

下記のサイトから『図書館雑誌』に連載中の「こらむ図書館の自由」を読むことができます。ここで取りあげられた資料を皆さんの図書館ではどのように扱ったでしょうか。少し読んでみてください。（20年分近くの記事がありますので、拾い読みでも結構です。）

<http://www.jla.or.jp/portals/0/html/jjyu/column.html>

By 大学図書館支援機構(IAAL) 高野

「図書館の自由に関する宣言」を題材にした有川浩の小説『図書館戦争』は、アニメ映画化に続き、今年岡田准一主演で実写映画化され、人気をはくしたようです。これまでフィクションに出てくる「図書館像」が、必ずしも図書館の理念を反映していないため、『図書館雑誌』のコラムでもVol. 98, no. 10「耳をすませば」、Vol. 106, no. 6「ストロベリーナイト」「相棒」等、図書館側の見方がチクチクと書かれているのに対し、『図書館戦争』についてはVol. 102, no. 7等で評価されています。実写版はまだDVDになっていないため、アニメ版をみんなで観てみましょう。

第4回会場案内

- 東急大井町線尾山台駅 下車徒歩12分
- その他、東横線・多摩川線の多摩川駅、田園都市線の二子玉川駅、東横線の田園調布駅からバスがあります。

交通アクセスについて詳しくは <http://www.tcu.ac.jp/access/index.html#a1> をご覧ください。

キャンパス案内URL：<http://www.tcu.ac.jp/campuslife/introduction/setagayacampus/index.html>

会場の世田谷キャンパス図書館は9号館です。

IAAL事務局連絡先

170-0004豊島区北大塚1-19-12 6F TEL: 03-5961-3401 FAX: 03-5944-5087

IAAL緊急連絡先（携帯番号）090-9100-0387

テーマ

研修分科会中間報告と最終報告の準備

研究分科会報告大会概要

開催日：2013年12月12日（木）

会場：専修大学 生田キャンパス
9号館2階 92A会議室

発表者：6研究分科会1研修分科会

時間：各研究分科会45分以内

*質疑応答時間を含む

今回は3部構成で、①図書館の自由について考える、②研修分科会参加中間報告、③報告大会打合せを行います。

課題について

第3回までの研修分科会を通して学んだことを、レポートにまとめ、報告していただきます。

書式はWordもしくはPowe Pointで、分量は問いません。貴重な業務時間に出張していますので、それなりの成果を形として示すこと、また研修分科会に出席できなかった職場の方にも学んだ内容を共有することを目的としたレポートです。職場によっては毎回出張報告をされている方もいると思い

ますが、もしこれまで報告する機会がなかった方は、同じものを所属図書館にも提出してください。

レポートとしては、講演のレジュメや見学の事実だけでなく（これはできるだけ簡潔にまとめて）、そこから得たこと、自らの考えや、どのように今の自分の業務に活かすか、を中心にまとめてください。

提出方法

図書館員のためのリポジトリに登録してください。indexは/ Public / 分科会 / 研修分科会としてください。

Time table	13:00-14:45	『図書館戦争』（アニメ映画版）視聴
	14:45-15:00	ティーブレイク
	15:00-16:30	中間報告発表
	16:30-16:50	報告大会打合せ
	16:50-17:00	事務連絡

DVDの視聴は、著作権法の以下の条項の範囲内で行います。

（営利を目的としない上演等）

第38条 公表された著作物は、営利を目的とせず、かつ、聴衆又は観衆から料金（いずれの名義をもつてするかを問わず、著作物の提供又は提示につき受ける対価をいう。）を受けない場合には、公に上演し、演奏し、上映し、又は口述することができる。ただし、当該

上演、演奏、上映又は口述について実演家又は口述を行う者に対し報酬が支払われる場合は、この限りでない。

さて、皆さんはどのような感想を持たれるでしょうか。ありえない！とか、少女マンガの王子様ものじゃない！とか色々あるかと思いますが、図書館の自由がどのように取りあげられているか、ティーブレイクの時間に話し合ってみましょう。

ファイル名

ファイル名は下記のように付けてください。

2013研修分科会中間レポート(○○大・氏名)

提出期限

9月19日（木）（開催日の1週間前）とします。

9/26に提出されたファイルを使って発表していただきます。発表は1人3分程度とします。短い時間に上手に人に伝えるトレーニングです。

第3回 夏季見学ツアー 写真集 2013年8月27日 晴天

国立国会図書館

10:00-11:50

国立国会図書館では、最初に30分、研修室にて樋口早苗氏から「資料デジタル化に係る業務説明」の講義を受け、その後2班に分かれて、館内を見学させていただきました。1998年の「電子図書館構想」から始まり、現在に至るまでの国立国会図書館の資料デジタル化の取組

みの背景に、一貫して「原資料の保存とサービス」の考え方があることを学びました。





国立公文書館

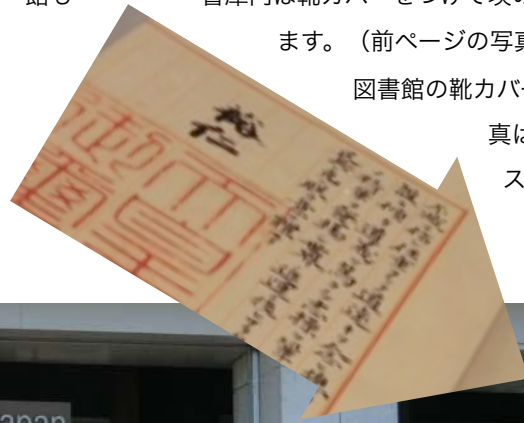
13:00-15:00

国立公文書館では、この期間「空襲の記録」連続企画展が行なわれていました。特別展示として「終戦の詔書」の原本を観ることができました。

見学は国立公文書館紹介ビデオを観た後、2班に分かれて、資料修復（リーフキャストイング）、書庫、閲覧室を見学させていただきました。国立国会図書館も、国立公文書館も

書庫内は靴カバーをつけて埃の侵入を防ぎます。（前ページの写真は国立国会

図書館の靴カバー。左の写真は移動の都バス内風景。）



慶應義塾大学三田メディアセンター

15:30-17:00

最後の訪問先は慶應義塾大学三田メディアセンター。今回の訪問先の中で、唯一大学図書館です。移動のバスでは、早稲田大学図書館の高橋晶子さんに、早稲田大学でのデジタル化の取り組みについてミニ講義を行っていただきました。

慶応大学のデジタル化事業は1996年のHUMIプロジェクトに始まり、貴重書デジタル化、Google Library Project、HathiTrust、電子学術書利用実験プロジェクト等いくつかの側面をもっていることを古賀理恵子さんにご講演いただき、その後3班に分かれて本館内の撮影室や、旧館を見学させていただきました。



次回開催予定

11月7日（木）於：早稲田大学
テーマ：RDAについて

2つの講演を予定しています。

- ・ RDAとは何か
 - ・ 米国視察のお話し
- 乞うご期待！！